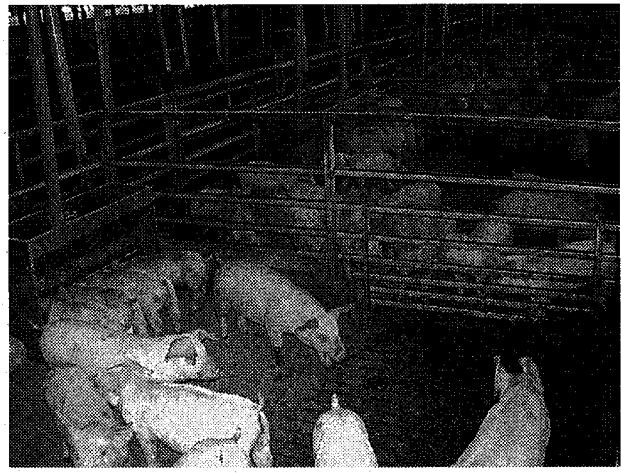


が日野皓正ジャズトークショー ■ の山東正彦氏も参加する。書館交流ブックセンターコンサートホール「コロネット」で日野氏が公演する。同公演「日野皓正クインテット2009～寂光～」は札幌、大阪、東京でも順次開催する。(岡崎)

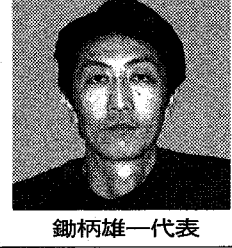
- 三河支社 岡崎市明大寺町寺東5-3 0564(52)2260 FAX 0564(54)2336
- 刈谷支局 刈谷市相生町2-11 佐藤会計ビル 0566(21)6106
- 豊橋支局 豊橋市駅前大通3-118 大豊むらかみ産業ビル 0532(54)2668
- 豊田支局 豊田市小坂本町4-2-7 0565(34)1553
- 浜松支局 98番地 201号
- F A

トヨタファーム 食品廃棄物を飼料化



成長段階の豚を飼育する豊田市の豚舎内

一九六五年の創業。原市で約千五百頭の肉豊田で約二万頭、田一豚を飼育している。



鋤柄雄一代表

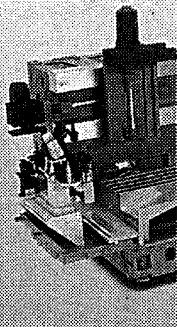
養豚場の経営で最も重要な要素は、飼育環境の整備と飼料の品質だ。豊田の農場で、繁殖から成長期までの飼育を手掛け、肥育期に入った豚は八割を養豚業者に出荷し、残り二割を田原に移送する。最後まで自前で飼育した豚は、「オリジナルブランド」「三州豚」として流通ルートに乗せている。

新工場でコスト抑制

破砕機など導入 月100トン製造目指す

養豚業のトヨタファーム(本社豊田市堤本町落田一四、鋤柄雄一代表、電話0566・52・4757)は、食品の廃棄物を飼料として再利用する事業に着手した。昨年末に新設した飼料配合専用の工場を今年中にフル稼働させるため、破砕機などを順次導入していく。価格高騰が続く輸入配合飼料の使用を減らし、コストを抑制するのが狙い。飼料を自家製でまかなうことで、世界の食料事情に感わされない経営を目指す考え。

販売する工作機械「立」で詳細に再現した。全体マシニングセンタV九十二点の部品は接着33iを二十分の一剤を使わずに組み立てサイズで模型化した。られ、塗装なしでも十牧野フライス製作所が分な雰囲気味わえる



普段は目にまで精密に研

MC



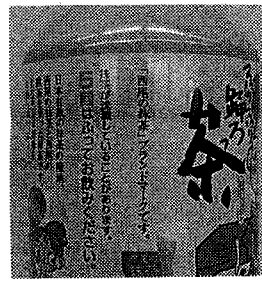
同社工場での立体マシ中国製品の店頭や台頭に国内シを通メーカーは売する苦戦している込みでる。同社は定。

炭素繊維強化プラスチック 事業化研究会が発足

【浜松】自動車や航空機の軽量化に貢献し、新素材として注目を集める炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の事業化をめざす研究会が二日、発足した。静岡大学工

【西尾】西尾商工会議所(電話0563・日

毎月二千万円以上の費用がかかる。そのため、昨年末に豊田農場の隣地に工場を建設し、飼料の自家製造に乗り出した。食品メーカーからパンやめん類の廃棄物を買取り、攪拌(かくはん)機で飼料に仕上げる。現在の製造量は約五十トンで、田原農場の使用分をまかなうのに精いっぱい。さらに量を増やし、豊田にいる成長期までの豚に与える粉末を作るには、専用の破砕機も必要だという。年内をめどに、包装を除去する機械も導



地元産抹茶の西尾ボト

入し、月百の製造をる。指す。すべの設備をろ。えれば、工場建設とあわせ総額一億五千万円を投資することにな